禁裏御所御用日記 二六

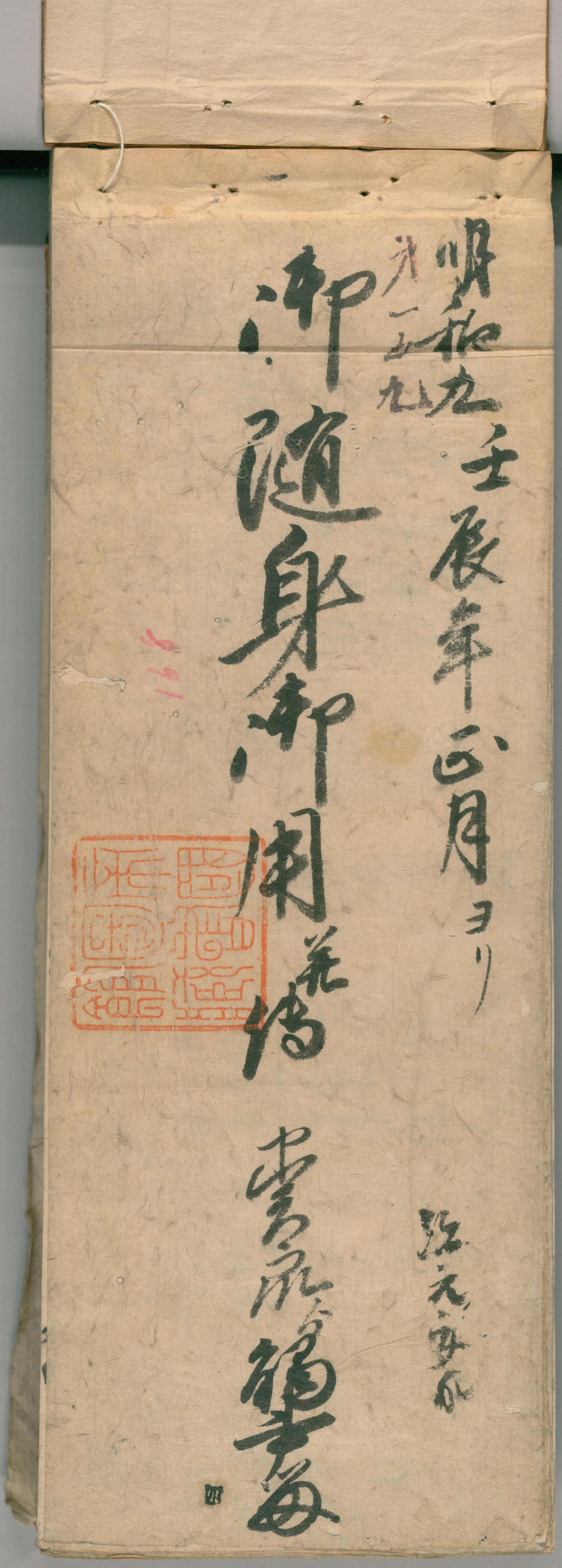
826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

6. 4. 13
請求

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

晴元日

一院御所御

十六日

十八日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一議　来ル廿三日東照宮
御年忌ニ付
奉幣使発遣日時定
陣儀
勅使
勅来ル廿三日東照宮
奉幣使発遣日時定
陣儀
勅使
午剋御神事ニ仍テ
為御名代
勅来ル廿三日東照宮
奉幣使ヲ以テ
御名代
遣ス旨ヲ
議奏中ヘ
申入ル
議奏
二月十四日
参中
新蔵
未剋過ニ
右兼帯書出ス
御名代ニ付
右大将

十九日
一 当月分日光御代参被仰付
　白銀壱枚被下之
一 御法事
　西之丸
　　　甘利参
一 遺佳院様御
　　　宇善全
一 大典侍殿御家
　勅使御参向御使者

一 同廿六日 参内御神事
　触有之旨申来
　　　則 上覧
　来廿日 賀茂祭
　御神事従十八日晩
　従明後八日晩
　廿日晩
　御祈禱被仰付 [illegible]

一 [illegible]
　[illegible]入来 [illegible]
　節付 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

清和事自
到九ツ晩
御簾高欄
公卿多
中納言
中将
宵
土山

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

摂政家　新宰

返書
中川山城守殿
津懐門兼帯殿
出羽大和守殿
土山駿河守殿
大嶋左馬大允殿
勢多豊前守殿
座　細谷守殿
右代理鳥居蔵見　十七

賀茂祭当日宿割
別紙之通来ル也

四月十五日

右一通

御祭宿割

近衛使　鴨脚新三位
同下部　山口右兵衛
　　　　山口市之丞
内蔵使　田中隠岐守
山城使　泉亭三位
同下部　同所門内
検非違使　鴨脚加賀守
御随身　南大路相模
舞人陪従　梨木石見守

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　ガラス使用

同下部
左馬寮
史生衛士
看督長
火長
三重平
主水司
御傳養
同下部
御奉行
同下部
辰
四月
右一通

松原上野 儀兵衛
井上備前 林 河内守
林 對馬守
井上備後
木下庄蔵
中堀豊平太
鴨脚三位
同所門内
南大路陸奥守
同所門内

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

廿三日
一條 參殿
光尾

晴

櫛井宮典侍
今日 立明後廿五日ニ
日ニ付而慶
朝臣

洞中三ケ日物忌
此間為西
玉体ケ事
ケ事

四月廿二日

一條 參
新考

土山藏助
追而慶賀
申入候事

右御手
申入候

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

十五日 晴 新暑

一昨日御所御用日記

一当辰二月官位之儀ニ付武州忍藩
右弥村ニ親類御用ニ而江戸ニ罷在候処
為頂礼ニ参り候ニ付御用人将
友次郎ニ相対書
一武州忍藩之儀年数ニ而
御免ニ相成
一生国武州児玉郡
村ニ而十郎
一中七ツ時ニ而
一西時九ツ時ニ
筋通り庵
ニ而ハ不用之
処白キ方
一唇うすく
薬細ニ
一中饗月代
一目かうく
白目かち
一頭毛

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

一右記来秋
く候是又
ゟ将又
一記来秋
報を遣
事
右南隣
ゟ報
分
事
右ゟ通
ゟ報
九月
右ゟ通
口状ゟ
別紙通
ゟ来
う入
分
奉

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

賀義下上侍　正親町公明
參
右之通被仰出
十月十七日
廿七日
一御随所仲ら宗門改
能和侍ら雲客慶賀
指宗礼次第記之
雲客之
廿八日
一侍　雲客慶賀
参免
口状之通被仰出
一勅来月廿二日晩ら廿四日新嘗會
陰明後廿日晩
禁裏様
仙洞様
御神事始
来月廿二日晩ら廿四日
胡粉潔斎ニ而旦重服
法中ら
禁裏様
仙洞様
御神事
一従廿二日ニ而ニ日物

廿六日朝五ツ時佛事執
し鐘し音停止之事
一廿七日朝六ツ時より同四日朝六ツ時迄之内
胡亂之儀堅可為停止事
一法躰并不浄之
仕業停止之事
一諸宗寺院僧神
社等江被仰出
候條急度相守
可申事
一宗門改之儀
神主并社人
堅可為停止事
右之趣急度可相守
もの也
寛文十年
十月 日
寺社
奉行
在々
もの
寛文十年
十月 日
寺社
奉行
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

廿九日

廿九日
一雨 晝夜

十一月朔日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

〃
〃
〃
迄ニ出候様ニ相達ス
ても

七日
一 傳奏衆ゟ觸書ニ来如左
口状之覚
就来十一日
内侍所臨時御神楽
従明後九日晩迄十二
日朝
禁裏様　仙洞様
御神事ニ付為心得
可申入之旨両傳奏衆ゟ申付
如是ニ候、伊賀守口上ヲ以
右傳奏達之以上
十二月七日　両傳奏
雑掌

右小預衆へ

十二月九日
一 調

十一日 雪
一 晴 諸卿参仕 仁孝

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

十八日
一

進候之旨、居相済候
以上可申上候

土山駿河守殿

廿日
一傳奏衆より御觸書
到来如左
口状覚
浄岸院様去ル五日
御逝去ニ付、従今日到
来廿五日迄、鳴物
停止、普請ハ不苦候
右町方江相觸候也
酒井大膳殿より御
奉行江被為渡候
右之入之旨申傳候事
対せ候ニ付、先仲ヶ間中
江茂可相触事ニ候以上
十二月十六日　雑掌
奏傳　雑掌

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

一村雲稚候今廻快晴来
廿九
未ん巳年元日晴
仙洞御所四方拝小朝賀新須賀参内
午ん午年元日晴
参内小朝賀
十二月廿三日 雑信
三位殿次官殿
土山武右衛門殿
右近方永井
三位殿次官殿
東ん巳年元日晴
仙洞御所四方拝小朝賀
清須参詣

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

六日
一白馬
細川治部院御役
来ル七日白馬院
御用ニ付蘆山敷村雲
種経ニ江御借被成度
御借之具御請取
禁中桃灯ニ而江治
弓箭 太刀 石帯 笠
平緒 丸緒
右之品々御借用候
右之
一　水口
右御請取候
右之通禁裏院右門前
三条町桔屋長兵衛
借用ニ而御日記ニ御座
候申候

十九日
一当年賀茂祭順番ニ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　ガラス使用

十九日
一 当年賀茂祭順番ニ
付進メ候事
当年賀茂祭奉行
役順番ニ候處御差支之
由ニ付延引之段相伺候處
可被成御座候
正月十九日 土山駿河守
山本尚芳様
調子武喜様
土山寛典様
稲木淑花様
追而當方ゟ淑花殿御神事
ニ而候處右ゟ御沙汰入候處
御書出候而相濟候
出來可然候
右之状稲木淑花殿ゟ承候

廿二日
一昨日
廿四日
一今日左大将
従六位上
従六位下
正六位下
従六位上
従六位下
従六位下
山本
調子
土山
鈴木
右近衛将曹源重典
右近衛将曹下毛野武述
右近衛将曹源當方
右近衛将曹紀淑範

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

廿六日 ・・・ 祭朱

一 右近衛将監 三淵重馬

死去届状 源澄為

右為御届

〃 従六位下

一 右兵衛尉 元吉貞重 元服

右為御届

右之通被

仰出候

右為御心得

申入候 以上

十月廿六日

祭朱 右近衛将監殿

一〃

重吉 死去届状

右為御届

仰出候 服

三十日

服

九十日

服

右之通被

仰出候

右為御心得

申入候 以上

十月廿六日

祭朱 右近衛将監殿

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

口状ニ
来月朔日ヨリ
春日祭来ル
廿二日ヨリ
禁裏様
伺候
仍為
当番
参
雑掌

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十二日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

十八日
一賀茂傳 業永朝臣
宍戸左馬助 源親扶
口状之覚
葵祭御下向之節
其日於二條城
御渡等業法
神名前並
年初之
御渡等
雑色を
出立之
裏松右中
二月十八日
勘解由小路中納言
新中納言
新宰相

小山内蔵
押小路大納
概ね無事
出納大和
古山源
辻、左
右ニ依
三中書
左ニ依
廿日
一賀茂伝
高方ヨリ
江快
菱糸ヨリ
先書
天台内
ヨリ
高安
二月廿
謁
裏松
名内

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

大今
一主上御
御快氣
三月二日
一
志摩守
右之通領
勤許ニ付
三浦安房守
一従六位下
右近衛府生
土御門府生
勤許ニ付
三善常運（ツネカズ）
當巳五十一
四月四日
一
知行高
一那村分由緒
右帳面弐冊
御書ニ
御奥書之
出候ニ付
廣橋殿

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

右御勘考之儀仰ケ出申上候ハヽ
尤関白之儀ニ付而ハ
申入之旨ニ付而ハ
為参賀
入之儀

二月廿日

菅原俊村

廿三日
一去ル廿日
御三卿

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

廿六日
一伺 叡慮ヲ以
少九
口状ニ
来九八 就
東照宮年忌
日時定陣儀於昨廿七旨
晩六ツ半九八ツ半ニ
清神事ニ
將ニ参入ニ
中刻ニ
申刻ニ

廿七日
一伺 叡慮ヲ以
来九八 就
東照宮年忌
日時定陣儀於昨廿七旨
晩六ツ半九八ツ半ニ
清神事ニ
將ニ参入ニ
中刻ニ
申刻ニ

廿七日
一伺 叡慮ヲ以
来九八 就
東照宮年忌
日時定陣儀於昨廿七旨
晩六ツ半九八ツ半ニ
清神事ニ
將ニ参入ニ
中刻ニ
申刻ニ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

御參宮
内藏寮 單騎
宮内卿 家亨三位
同下部 同所門内
撿非違使 騎脚加賀
所勾當 南方籍接
舍人信從 梨木有賀
同下部 松尾河内
右馬寮 林河内
史生淳 宮内文二
看督長 林對馬
火長 井上備前
童子 井上備後
中堀加筆太
已上
四月

来九日賢所御祭下賜
休。新嘉門別御
通入御膳ノ順路
御迎賢

賢所
裏松
龍書

連名同右

裏松

一仲冬紫宸殿ニ而表褂
被着之内表褂南車新
調之分出来ニ付今
入用ニ而差出候間
右之表褂仲冬
南車新調出来迄
仲間紫宸殿ニ而
着用之表褂
被差出候様
可被取計候
以上
十一月廿七日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用